

単元名 きよくに 合った 歌い方

配当時間 4時間

- 単元の目標 (1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けることができる。
- (2) 旋律や伴奏を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想に合った歌い方を工夫し、どのように歌うかについて思いをもったり、演奏の楽しさを見いだして聴いたりすることができる。
- (3) 曲想や歌詞を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとする。

標準的な展開例

02070201_001

【教材名】ジェットコースター（歌唱） 虫のこえ（歌唱 共通教材） ながうた「むしの声」（鑑賞）
(P. 28～P. 31)

【準備等】範唱CD、鑑賞CD

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～2 「ジェットコースター」の曲想を捉え、工夫して歌う</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「ジェットコースター」を、曲の気分を感じ取って歌う <ul style="list-style-type: none"> ★歌と みぶりの ジェットコースターで あそぼう ・範唱を聴いて、曲の感じをつかむ。 ・「わくわく」や「ゴーゴー」などの言葉を意識しながら、歌詞を覚えて歌う。 ・ジェットコースターの走る様子を想像しながら歌う。 ○歌詞から擬音等を取り出して、身振りで表現しながら歌う。 <ul style="list-style-type: none"> ・「わくわく」「どきどき」…乗っている人の気持ち ・「びゅんびゅん」「ぐんぐん」…ジェットコースターの様子や音など ・「スリー ツー ワン ゼロ」のかけ声のところの、気持ちを考える。 ○「ジェットコースター」を、体を動かしながら歌う。 <ul style="list-style-type: none"> ・楽譜中の矢印の部分の表現を、ジェットコースターの様子と声の高さとを関連させて考える。 ○「ジェットコースター」にふさわしい歌声を工夫して歌う。 <ul style="list-style-type: none"> ・旋律や伴奏の感じについて、気付いたことを出し合う ・歌詞が表している気持ちや様子について、気付いたことを出し合う。 ・どんな声で歌いたい交流する。 ・声を合わせて歌詞唱する。 <p>3～4 「虫のこえ」の曲想を捉え、工夫して歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「虫のこえ」を、曲の気分を感じ取って歌う。 <ul style="list-style-type: none"> ★ようすを 歌で あらわそう ・範唱を聴いて、曲の感じをつかむ。 ・様子を思い浮かべながら、歌詞を覚えて歌う。 ・何の虫が出てくるか、歌詞から見つける。 ○「虫のこえ」の前半部分を工夫して歌う。 <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの虫の音を、一つ一つ声に出して読んでみる ・旋律のリズムと同じリズムで読みながら、読み方を工夫する。 ・読み方の工夫を生かして歌う。 ○「虫のこえ」の後半部分を工夫して歌う。 <ul style="list-style-type: none"> ・「ああ おもしろい」の気持ちを考えて歌う。 ○虫のグループと全体とに分かれて歌う。 <ul style="list-style-type: none"> ・出てくる虫ごとにグループをつくり、その虫の鳴き声の部分を担当して歌う。 ・虫の音以外のところは全員で歌う。 ・表現のよいところ、面白いところを交流する。 ○長唄「むしの声」を聴く。 <ul style="list-style-type: none"> ・曲名を予想しながら聴く。 ・虫の音を表している部分を探しながら聴き、見つけたらその部分で挙手をする。 ・旋律や声の出し方など気付いたところを交流し、日本の音楽の表現を知る。 ○「虫のこえ」を全員で歌う。 <ul style="list-style-type: none"> ・思いを込めて歌う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・明るいきりずみく曲調から、自然に体を動かす児童もいるかもしれない。曲にひたり、曲調をつかませるとよい。 ・人の気持ちを表す言葉とジェットコースターの様子を表す言葉の二つに分け、板書し、身振りを考えさせる。 ・児童なりの身振りでよい。 ・考えた身振りの理由を児童に尋ね、全体で共有させる。 【評】曲想や歌詞に合わせて身振りを考える活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・休符の部分の矢印は、ジェットコースターの動きととらえ、声の変化や身振りで表すようにする。 ・数人でつながってジェットコースターの動きを表現してもよい。 ・どのようなことも意識させたい。 【共通事項】音色 【評】曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて話し合う活動を通して「知識」を評価する。 ・虫の音に気付き、それを聴いている人間の部分と、虫の音の部分との二つに分かれていることに気付かせる。 ・教科書の写真を見せ、イメージをつかませる ・「まなびリンク」の音声を活用してもよい。 ・前半が繰り返して構成されていることに気付かせる。 ・単なるカタカナ表記として読ませるのではなく、鳴き声を意識させて読ませる。 【評】歌声や発音に気を付けて歌う活動を通して「技能」を評価する。 ・児童が希望する虫でグループ分けをしたほうが、意欲的に表現をすることが多い。その際グループごとの人数を平均化することにこだわらなくてもよい。 ・1回目は曲名を伝えずに鑑賞をさせる。 ・2回目で曲名を使われている楽器を伝え、虫の音を探させながら聴かせる。 【共通事項】音色 【評】旋律のもつよさや面白さを感じ取り、曲想に合った歌い方で歌う活動を通して「思考

・判断・表現」を評価する。

【 備 考 】